



奉仕を通じて

平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創立：1980年(昭和55年)1月10日
創会幹事：松波 恒彦
幹事：平野 好道
広報委員長：大嶽 達郎
例会日：毎週木曜日 PM12:30~
会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

第1576回例会

～R財団月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2012年11月22日(木) 曇 第20回 なごやか例会・臨時クラブフォーラム
於：ヒルトン名古屋ホテル28階「One O Five」

司会：渡辺喜代彦会場委員
ゲスト：RI第2760地区
地区研修委員会副委員長 成田洋之さん
ビジター：森克彦さん(一宮RC)
吉田しおりさん(名古屋大須RC)

会長挨拶

松波恒彦会長

福島第一原発事故後、国と福島県が支出する本年度公費の1億7千万円と義援金を合わせた3億円を超えるお金が、避難のため手放したペットの保護費に当てられました。

福島県三春町のパチンコ屋さんの跡地を活用したシェルター(一時保護施設)に200匹以上の犬猫が保護され、臨時職員とボランティアが世話をしています。

事故以後、警戒区域内で保護された犬猫895頭、うち500頭は元の飼い主に返されましたが、野良猫や事故後に繁殖した子犬、子猫の里子引き取りは進んでいません。

シェルターの運営費は臨時職員の人件費やエサ代金で月500万円かかります。福島県動物救護本部に寄せられた義援金は2億8,200万円でしたが、すでに1億9,000万円は使われています。環境省は本年度の一般会計予算でペットの被ばく調査費などに1億円、福島県もシェルター運営補助費に6,900万円を計上しました。しかし、「犬や猫などにこれほどの資金を投じるべきではない」との批判は多く寄せられています。

今後は放置された、犬、猫、牛、豚、鶏等の家畜、猿や、元ペットのアライグマ等の糞尿や死骸による水源汚染や人畜共通感染症が問題となってくるでしょう。



幹事報告

平野好道幹事

- ・本日13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて五大奉仕委員長研修会を行います。
- ・11月29日(木)18:00よりヒルトン名古屋4階「桜の間」にて台北延平RC来訪歓迎夜間例会を行います。

出席報告

松井文一郎出席委員

会員64名 出席41名 (出席計算人数49名)

出席率 75.9% 11月15日は補填により 89.3%

ニコボックス

松井文一郎ニコボックス委員

- ・ニコボックスにご協力いただきました。 成田 洋之さん
- ・昨年11月15日より9月27日まで10ヶ月に及ぶ入院生活中、会長、幹事をはじめ多くの会員の皆様に御見舞、励ましを受けありがとうございました。 大島 浩嗣さん
- ・例会に久しぶりに出席させて頂きます。渡辺さんから足があるのかとからかわれました。 大川 嘉成さん

- ・毎年お祝いの花を贈って頂きます。有難うございます。妻65才の誕生日を迎えました。 高須 洋志さん

- ・地区研修委員会副委員長 成田洋之さんをお迎えしまして。

長瀬憲八郎さん

- ・昨日のゴルフ会、ありがとうございました。 山口 哲司さん

- ・12月2日に芸文コンサートホールでメサイアを歌います。平野哲始郎さん、鈴木淑久さんの会社からもプログラムに広告を出してもらっています。 平野 好道さん

- ・昨日のゴルフ会では初優勝させて頂きました。山口さん、年齢差でゴメンナサイ。皆様にお世話になりました。有難うございました。 大嶽 達郎さん

- ・指名委員会が無事終わりました。有難うございます。

松波 恒彦さん

- ・先日ボジョレーの帰りには、野崎さんに大変ご馳走になりました。また岩田さんと楽しい一時を有難うございました。

平野哲始郎さん

- ・昨日はゴルフ会お疲れ様でした。

鈴木 淑久さん

「森の防波堤計画」について

高須洋志さん

この度、理事会の承認を得た新しい社会奉仕事業についてご説明をさせていただきます。

以前発行されたロータリーの友に、宮脇先生が地区大会で講演された時の原稿が載っています。我々のクラブでも6月に人為的なものではなく森による防波堤を作ろうという卓話をして頂きました。震災で発生した沢山のがれきをそのまま埋め立てるのではなく粉砕して埋めたマウンドに日本古来の木を植えます。松や杉の様に根の浅いものではなく、椎や榎などの様に根が5～6m位まで届く木を植えれば、埋められたのがれきを抱いて非常に強固な地盤ができます。今回、震災後の津波により根こそぎ森が持って行かれた為、人や車も沖へ流されました。根のしっかりした木が残れば、そこに引っかかり止めることができます。人為的に作られた堤防は地震で地盤が緩むと津波により崩れますが、深い根を張る木はそれに耐える力を持っています。



元々、先生が考えておられたのは防波堤を作る事ではなく、松や杉を植えてきた日本の植林政策を見直す事でした。たまたまそのタイミングで震災が起き、急遽もっと切実な課題として森を利用して防波堤を作ろうと提案をされました。当地区で同じ様な取組みをされているトヨタ系のメーカーの植林現場を見学させて頂いた時、宮脇先生のお話を伺い、再度この必要性を強く感じた次第です。ただ、多くの苗を育てる施設を作るには場所的、金銭的にも難しいと思っていたところ、会員の高村さんから「うちに植物の栽培をするハウスがあり、スペースにも余裕があるのでそこを使っては」とご提案頂きましたので一度見学させて頂こうと思っています。

これから、この事業に実際に取り組む為の具体的なお話をします。まずは皆さんに参加して頂く事が一つです。苗木を買って来たりお金を寄付するだけにならないよう、実際に皆さんに動いて頂きたいと思っています。そして、継続的に続けられる事業であるか、社会

貢献ができた実感できるか、という事でこの事業が選ばれました。

白神山地のブナ原生林の様な日本古来の広葉樹が育っている森は根が深く、保水力があり、雨水が一気に川に流れて氾濫を起こさないよう水を蓄え、少しずつ流してくれるので、そういう木を沢山育てる事が大事です。ブナ科の中のクヌギの木にできるのが、一般的にドングリと呼ばれている丸い実です。ドングリには他にも種類が沢山あるのでそれらを拾い集めて頂き、少なくとも5種類を『混植』します。それから『密植』という、できるだけ狭い間隔で植える事により木同士が競い合い、残るものと淘汰されるものができるのです。この『混植』『密植』という方法で強い木を育てます。

<手順>

1. ドングリを30時間水につけ、中の虫を窒息させる。
水に浮くものは虫に食われている可能性があるので沈んだドングリを選ぶ。
2. 苗床にドングリをまく。
3. 土をかぶせて切りわらや落ち葉を敷く。
4. じょうろなどでたっぷり水をかける。
5. 夏は2日に1回、冬は3〜4日に1回水をやる。

発芽したら、腐葉土の入ったポットへ植え替え、一定の本数をそれぞれの会員の方のご家庭で育てて頂きます。1年半位かけて育てると50cmから1m位の苗木ができます。大事なのは冬場は3〜4日に1回、夏は毎日の水やりと日光です。おそらく1年半から2年後に、自分で可愛がって育てた苗木が50cm以上に育ったら、被災地の防災林に届け植林を行います。それを毎年繰り返す事業であります。

東北の海岸線300キロの間に約9,000万本程の木が必要なので、できるだけ沢山の苗木を作ってほしいと宮脇先生はおっしゃっていました。愛知県で1万本位必要と言われますが、とてもすぐには集まりません。まずは我々のクラブで小さくスタートし、できれば地区へ広げて行けたらと思っています。その植林を実際に行う2〜3年後には、どなたか我々のクラブの代表の方が東北へ出向き、あちらの自治体を訪問して頂きたいと思っています。仙台市の防災計画を見て参りましたが、今まで同様コンクリートによる防潮堤を作る様です。ただ、従来と少し変わった所は、その内側のマウンドに防災林を植える事です。堤防そのものが壊され流される事に比べると、そこに埋められた木が一定の役割を果たさずと考えると、この地区でも、海岸線に防災林を作る企業はいくつかあります。愛知県でも東海沖地震の事を考え、植林できる土地を県や市が提供してくれるかという事がこれからの課題です。少しお尋ねした感じでは、県や市には防災計画がすでにあり、余分な木を持ち込む事について抵抗がある様で、なかなか思う様にいきません。まずは東北で受け入れてくれる所へ持ち込む事からスタートし、可能であればこの愛知県内の海岸線に植林するところまで持って行ければと思っています。

次に、このプロジェクトの実行メンバーですが、案としては社会奉仕の委員長に毎年引き継いで頂く様お願いしたいと思っています。そして、メンバーは五大奉仕委員会の中から一人ずつ出してもらい、理事会等で話し合い、合意が得られればそのメンバーで勉強会を開き、育て方を覚えて頂いてから進めたいと思います。間もなく12月になり、時期的にも難しいので、まず今年は私が100個ほどのドングリで試してみます。カップの中に腐葉土を入れ、その上にドングリを並べ、土を1センチくらいかぶせて我が家のベランダに置いてあります。芽が出なければどこが悪かったか反省をし、プロジェクトに参加して頂いた方と一緒に、ドングリの見分け方、育て方、実際に発芽してからの管理の仕方を勉強した上で皆さんに広めて行きたいと思っています。今年は予算は必要ありませんが、次年度は計画の進み具合によっては予算組みをして頂かなくてはならないと思います。また、これは継続事業ですので前年の委員長にもメンバーで参加して頂き、今年度の社会奉仕委員長には来年度の委員長をサポートして頂きたいと思っています。私は提案した本人ですので、軌道に乗るまでの数年間は参加するつもりです。

大事にしたいのはクラブの事業だという点です。ドングリを拾って育てる事で植物に対する愛情や理解を育てる事も目的の一つです。ドングリから育てる事とそれを植林に役立てる事は同じ位重要であると考えています。元々、森を再生する目的でしたので、東北の防災

林が一段落後、本来の事業に切り替えて行きたいと思っています。この事業にご賛同頂ける方は拍手で承認下さい。(拍手)新しい事業、頑張って取り組みましょう。

名古屋瑞穂ロータリークラブ同好会

◆ゴルフ部会

(会長:野崎洋二 代表幹事:内田久利 幹事:堀 慎治)

【開催日】 年9回(3・4・5・6・7・9・10・11・12月)

いずれもウィークディに開催。年1回は名古屋南・名古屋東南・名古屋名南の3ロータリークラブと合同で盛大なコンペを行う。

【年会費】 30,000円

【会場】 愛知カンツリー倶楽部
三好カントリー倶楽部
名古屋(和合)ゴルフ倶楽部

【各賞】 優勝〜参加賞

◆グルメ会

(代表幹事:野崎洋二 幹事長:田中隆義)

【開催日】 年3回くらい

評判の良いレストランや料亭、珍しいものが食べられる場所などを探して食事会を行う。夫人、家族同伴可。皆で色々なお店に、美味しいものを食べに行きましょう!

【年会費】 5,000円

◆美術倶楽部

(会長:吉木洋二 幹事:市岡正蔵)

【開催日】 毎月第3土曜日17時00分〜21時00分

静物画、動物画問わず様々な絵画に挑戦する。画法も油絵、水彩画など好きな方法で行う。先生について、約3年に1回グループ展を開きます。

【年会費】 10,000円

【会場】 昭和生涯学習センター

◆野球部会

(会長:高村博三 幹事:野崎洋二 会計:馬場将嘉 世話人:亀井直人、梅村昌孝、近藤茂弘)

メンバー募集中です。特にピッチャーが出来る方の入会をお待ちしています。皆さんで甲子園へ行きましょう!

◆スキューバ・ダイビングクラブ

(会長:松波恒彦 幹事:鈴木健司)

不定期で開催。今までに行ったのは越前のダイビングツアー、パラオ、サイパン、沖縄です。夫人、家族同伴可。

【年会費】 3,000円

◆阿波踊り

(特別顧問:高村博三 発起人:野崎洋二 世話人:高須洋志 後見人:平野哲始郎)

【開催日】 毎週木曜日19:00〜21:00(変更検討中)

第一クールの練習が11月で終了しました。第二クールを12月から予定しています。(10回)運動のし易い服装、汗拭きタオル、お茶等持参の上ご参加下さい。

【会費】 2,000円/回

【会場】 太閤連道場
(昭和区田面町1-43 TEL:052-759-1860)

例会のご案内

■今週の行事 11月29日(木) 台北延平RC来訪歓迎夜間例会

場 所: ヒルトン名古屋4階「桜の間」
時 間: 18:00〜20:00

■次週の行事 12月6日(木)

卓話講師: 名古屋テレビ塔株式会社取締役社長
大澤和弘さん
テ ー マ: テレビ塔の再生と名古屋の魅力

■次々週行事 12月13日(木) クリスマス家族会

場 所: ヒルトン名古屋4階「竹の間」
時 間: 18:00〜20:00